

2024年度S Semester 先進科学 I α
量子技術と量子コンピュータ (アドバンスト理科)
金曜2限

担当教員：野口篤史 u-atsushi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

以下の31名の履修を認めます。

03243014	J4230700	J4241028
J4210618	J4230754	J4241082
J4220060	J4230756	J5230027
J4230038	J4230804	J5230419
J4230074	J4230830	J5230424
J4230150	J4230940	J5230515
J4230281	J4230974	J5230536
J4230388	J4231098	J5240352
J4230535	J4240098	J6240011
J4230545	J4240882	J6240031
J4230592		

>上の学籍番号のみなさん

本講義では Slack を用いた情報共有を考えています。Slack は過去の先進科学 I α と共通です。また、履修登録は忘れないようにお願いします。第2回の授業は情報教育棟 E31 教室で行います。その授業で IBM Q experience への登録に関してお知らせいたします。PC のある教室ですが、自分のラップトップを使いたい場合、持ってきてください。IBM Q experience の academic 登録と Slack への招待のために、みなさんの g.ecc のメールアドレスの情報と 10 桁の共通 ID が必要です。次の授業でも再度聞きますが、前もって私宛にメールを送ってもらえると助かります。

>それ以外のみなさん

みなさん、課題はよくできていて、しかも熱い思いを語ってくれたので、かなり僅差でした。アカウントなどのシステムの都合上、断腸の思いでの選抜になりました。次の機会がある方はまたチャレンジしてください。お待ちしております。量子情報に関する質問や実験室見学なども時間の許す限りは受けられるので、メールにて連絡をもらえれば。

>総評

みなさん計算はよくできていて、説明の論理や内容を重視させていただきました。皆さん色々な発想で説明してくれて、読んでいて楽しかったです。

また、量子技術に関していろいろな授業や大小様々なイベントもあるので、ぜひ積極的に調べてみてください。また理1の1年生は、Aセメには僕らの研究室でも研究入門(基礎実験 α)を受け入れます。今回の授業の内容とは異なりますが、実際に超伝導量子ビットに触って動かす機会を作ることもできますし、その他内容に関しては相談できますので、そちらも積極的に挑戦してみてください。

2024年4月13日 野口篤史